

日本共産党

上田さち子です



2012. 4. 29 号

(発行)

日本共産党市会議員

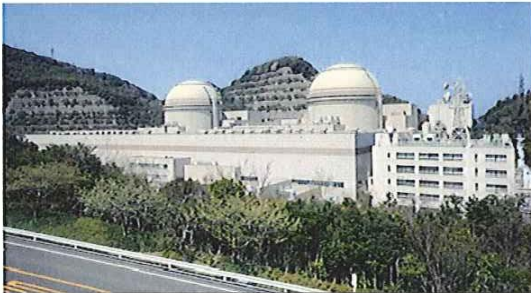
上田さち子

川添町五・十八

電・三五―二八一三

夏場の電力が大幅に不足する！

関西電力・大飯原発の再稼働って必要？



国民の大きな関心を集める大飯原発

五月五日には、北海道電力泊原発が定期点検に入り、全国で稼働原発がゼロに。野田民主党政権は、それまでに何としても関西電力の福井県にある大飯原発を再稼働

させようと第一ストロケリストをクリアした「安全だ」と強調していますが、国民の多くが信頼していないのではないのでしょうか。

電力会社や原発メーカーの海外進出のため？

福島原発の事故原因も明らかにされず、「安全基準」も計画さえあれば、対策がとられていなくても良しとする、恐るべき政府の対応。

この背景には、国民の命より電力会社・原発メーカーのもうけ優先が見え隠れ。

猛暑の二〇一〇年夏の消費電力をもちだし、今夏の電力

川添公園の枝垂れ桜も満開に



わが家の前の川添公園に、1本の枝垂れ桜。年々成長し、枝を大きく伸ばすシャッパも多くなった。写真念のため！(4・15)

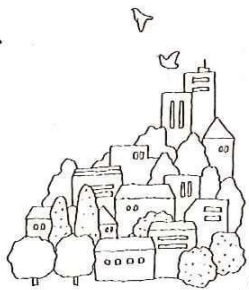
が不足と脅しをかけ、再稼働を迫りますが根拠はなく、四国や中部電力の余剰電力を使えばまったく問題なし。国民の良識で大飯再稼働を阻止。

私のブログ「上田さち子とコーヒータイム」を更新中です。ぜひ、訪問して下さい。お待ちしております。

災害がれきの「広域処理」について 申し入れ

東日本大震災による災害がれきが、被災地復興の大きな障害となっており、「広域処理」が課題になっている。しかし、政府が放射性物質への対策を真剣に行っていないために、被災地からの輸送や焼却、埋め立てによる安全への懸念や不安がありほとんど進んでいない。

市議団は24日、西宮市が受け入れ検討をしていることから、①検討経過の情報公開 ②住民合意を得ること ③神戸沖への埋め立てに関し、積み出し基地・大阪湾センター（尼崎市）への、他自治体からの焼却灰の通過等の危険があることから、西宮市を無視する処置・決定がされないようセンターに申し入れよと市長に要請しました。



西宮市の南部と北部を結ぶ生活道路・盤滝トンネルは、兵庫県道路公社が整備し、平成三年三月に開通した有料道路。整備にあたり西宮市は十二億千五百万円を無利子で貸付しました。

三月末には無料化時期を三年間前倒しにすると県と市が表明。理由は、二十億円余もかけてトンネルを改修する

無料化実現へ財源あります

以来二〇年、普通自動車で片道二五〇円の通行料負担が市民に。「生活道路だから、一刻も早く通行料を無料にして」との声もあり、市議団は議会で取り上げてきました。

もっとな早く無料にせよ！ 盤滝トンネル通行料



公共バスも通行料を負担して盤滝トンネルを通行

ので、終了する平成二十九年度末だとのこと。

さらに調査を強めて

毎年通行料の一分を積み立てている「損失補填引当金」は約二十億円にも。これを活用すれば、仮に必要な改修をしても、もっと早く「無料開放」が可能になると思います。近々にも「損失補填引当金」の活用についての国の見解を聞きに近畿整備局に調査に行きます。